

ふくしまの復興の「今」を知る学習会

【主催】

大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター（未来共生プログラム）
大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)

日時：2020年11月13日（金）17:30～19:00

講義：「ふくしまの復興の“今”とこれから」

福島県企画調整部 復興・総合計画課 佐藤安彦氏

会場：吹田キャンパス 最先端医療イノベーションセンター棟3F（演習室1.2）
and オンライン会議システム

（注）現地参加は阪大関係者に限る。先着20名。

参加申し込み

下記のURL又はQRバーコードから申し込みください。

<https://forms.gle/PoudeDFYDcv1z6cMA>



原子力災害からの復興には、まだまだ長い時間を要するといえるでしょう。しかし、被災地の状況や避難者をメディアが取り上げる機会が減る中で、国民の関心が低下し、原子力災害そのものが風化することが懸念されます。

このような背景を踏まえ、大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター（未来共生プログラム）では、福島第一原発事故の被災地の「今」を知り、被災者の「今」を聴き、原子力災害後を共に生きる私たちは、いかにあるべきかを考えるためのスタディツアーを昨年から実施しています。今年は11月19日～21日に行う予定です。

その事前学習として福島県の復興について学ぶ機会を設けました。ふくしまの復興の「今」を広く共有するために公開型で行います。みなさまの参加をお待ちしております。

